



# 喜多流自主公演

平成二十八年十月

平成28年 10月23日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁(平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)



枕 慈 童 松 井 彬  
 玉 葛 内 田 安 信  
 敦 盛 狩 野 了 一

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

##### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

##### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

##### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

- ※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※平成28年度公演の前半5回分は発売中です。後半5回分は平成28年9月1日(木)午前10時より発売します。
- ※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
 ※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮いたします。

### 十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>



能

シテ連・草刈男 友枝雄太郎

シテ連・草刈男 狩野祐一

後シテ・平敦盛の霊 狩野了一

敦盛

ワキ・蓮生法師 福王和幸

アイ・須磨の浦人 前田晃一

大鼓 柿原弘和

小鼓 鶴澤洋太郎

笛 一噌隆之

後見 香川靖嗣

塩津哲生

渡辺康喜

佐藤陽

佐藤章雄

金子敬一郎

地謡 塩津圭介

谷友矩

粟谷能夫  
大島輝久

狂言

寝音曲

シテ・太郎冠者 三宅近成

アト・主 前田晃一

休憩(二十分)

能

後シテ・玉葛の霊  
前シテ・里女

内田安信

玉葛

ワキ・旅僧 矢野昌平

大鼓 國川 純  
小鼓 観世新九郎

笛 藤田朝太郎

アイ・初瀬寺門前の者 三宅近成

後見 粟谷幸雄  
谷 大作

地謡

高林昌司  
佐々木多門  
粟谷浩之  
友枝真也

粟谷充雄  
粟谷明生  
出雲康雅  
内田成信

休憩(十分)

仕舞

融

友枝雄人

地謡

友枝真也  
内田成信  
金子敬一郎  
佐々木多門

能

シテ・慈童 松井 彬

枕慈童

ワキ連・従者 村瀬 慧

ワキ・勅使 福王和幸

ワキ連・従者 村瀬 提

大鼓 佃良太郎  
小鼓 幸 信吾

太鼓 林雄一郎  
笛 松田弘之

後見 友枝昭世  
塩津圭介

地謡

友枝雄太郎  
佐藤寛泰  
友枝雄人  
狩野祐一

高林伸二  
中村邦生  
大村 定  
長島 茂

附祝言

—終了予定 午後四時四十五分頃—

敦盛(あつもり)

一の谷の合戦で平敦盛を手につけた熊谷次郎直実は、出家して蓮生法師と名乗る。そして敦盛の霊を弔うために、須磨の浦に赴く。どこからともなく笛の音が聞こえてきたので佇んでいると、草刈男達が見れる。男達と蓮生は、樵歌牧笛の故事など笛のことについて言葉がかわす。やがて男達は帰って行くが、一人が残り念仏を授かりたいと頼む。そして男は、敦盛のゆかりの者だと言い残し姿を消す。(中入)夜もすがら念仏をあげ弔っている、敦盛の亡霊が現れる。そして平家一門の栄枯盛衰を語り、最後の合戦の前の宴で舞った様子と、討死の場面を再現した後、蓮生法師の弔いを頼み去って行くのであった。(約八十五分)

寝音曲(ねおんぎょく)

太郎冠者の謡を聞きたい主人は、何かともったいをつける太郎冠者に酒をふるまい、自ら膝枕をも許して謡わせる。謡の調子にのった太郎冠者は主人に身体を起こされてもなお謡いつづけ、ついには立ち上がって舞い始める。(約二十分)

玉葛(たまかずら)

旅の僧が奈良の長谷観音へ参詣に行こうと初瀬に赴くと、山川を舟を漕いで詣でる女がいる。僧は女とともに長谷寺に参り、女は有名な二本杉(ふたものすぎ)へ案内する。女はこの杉にゆかりのある玉葛の話聞かせる。玉葛の母・夕顔は源氏との逢瀬の時亡くなり、残された幼い玉葛は九州に下り、乳母に育てられる。しかし玉葛は田舎住まいに嫌気がさし、九州を後にしてこの二本杉のある初瀬に詣でに来た。そこで母・夕顔の侍女であった右近に出会い、光源氏に引き取られた話をする。やがて自分がその玉葛の霊だとのめかし、弔いを頼んで消え失せる。(中入)僧が哀れに思い弔いをする、執心により姿が乱れた玉葛の霊が現れる。そして沢山の求愛や恋の迷いのせい、死後の今も妄執の苦しみから抜け出せない、打ち明け、やがて昔のことを懺悔し成仏する。(約八十分)

枕慈童(まくらじどう)

魏の文帝に仕える大臣が、中国の酈県山の麓に薬水の水源があると、その水上を見て参れと宣言を受ける。勅使が山へ入ると山奥に一軒の庵を見つけた。様子を伺っていると、中から美しい慈童が現れる。勅使は慈童が山奥に居ることが不思議なので化生の者と怪しむ。そこで慈童は、周の時代の穆王に仕えていたと名乗るが、周の時代は既に数代前の話、七百年も前の話だと勅使はさらに怪しむ。慈童は、そうはいうが皇帝から賜った、法華経の妙文を記した枕があるといつて見せる。そして自分は、皇帝の枕をまたいでしまった罪でこの山に流されてしまったのだが、菊の葉に枕の妙文を写すと葉から滴るしずくが不老不死の薬となり、それによって自分が七百年も生き延びていることを話す。そして慈童は勅使の前で舞を舞い、菊水を勅使に捧げ、そのまま庵に戻っていくのであった。(約六十分)

平成二十八年十一月自主公演番組予告

平成二十八年十一月二十七日(日) 正午始  
十四世喜多六平太記念能楽堂

通小町 粟谷 明生

班女 長島 茂

雷電 金子敬一郎

替装束